

赤十字防災セミナー



災害から、あなたと周囲の人々のいのちを守るように、
「赤十字防災セミナー」に参加してみませんか？

- 対象** 町内会・自治会から小学校区程度までを範囲とし、原則として地域住民の方
- 会場** 地域のコミュニティセンター、公民館、学校体育館 など
- 内容** 「日本赤十字社の紹介」「災害への備え」「災害エスノグラフィー」
「災害図上訓練（DIG）」から必要なものを選択・組み合わせることが可能

詳細は裏面をご覧ください。

「自助」と「共助」の力を高め、人々のいのちを守りたい

日本赤十字社は、赤十字防災セミナーを通じて、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることで、地域の住民の方々が自ら、災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減することを目指します。

今後発生が予測される 大規模災害に対して

例えば・・・

日本赤十字社は、過去の災害から得た教訓を踏まえ、将来の大規模災害から人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高める防災教育が極めて重要だと考えています。

	南海トラフ地震	首都直下地震
今後30年以内の発生確率(※)	70~80%	70%
最大想定死者数	約23万1千人	約2万3千人

※平成28年(2016年)に発生した熊本地震の発生確率は、発生時点ではほぼ0~0.9%でした。

出典:地震調査研究推進本部ホームページ(令和3年3月時点)、第39回中央防災会議資料、中央防災会議防災対策推進検討会議 首都直下地震対策検討ワーキンググループ資料(平成25年12月公表)

赤十字防災セミナーの目的

- 1** 日本赤十字社の紹介(10分)
日本赤十字社の現在の活動内容や、災害時の役割、防災への取り組みについて理解する。
- 2** 災害への備え(約60分間)
災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から、平時の備えの重要性を理解する。
- 3** 災害エスノグラフィー(約120分間)
大規模災害の被災者の経験談を通じて、災害を追体験することで被災の具体的なイメージを理解する。
- 4** 災害図上訓練(DIG: Disaster Imagination Game)(約120分間)
地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。

※今後も新規カリキュラムの追加を予定しています。

必要なカリキュラムを選択・組み合わせることで実施

地域住民の
防災・減災に関する
知識・意識・技術の
普及向上

地域における
災害発生時の
応急対応にあたる
リーダー層の育成



Q

日本赤十字社がなぜ地域住民の防災教育を？

A

これまで日本赤十字社は、長年に渡り救護活動の経験を蓄積してきました。各自治体が実施する防災対策と連携しながら、赤十字のノウハウを活用して、全国に約30万近く存在する地縁団体(自治会、町内会)のレベルから、地域の「自助」と「共助」の力をさらに高められるようサポートします。



お問合せ先

日本赤十字社大分県支部 事業推進課

電話 097-534-2237

FAX 097-533-6795

E-Mail k-okimoto@oita.jrc.or.jp



Youtube で紹介動画を配信中！